



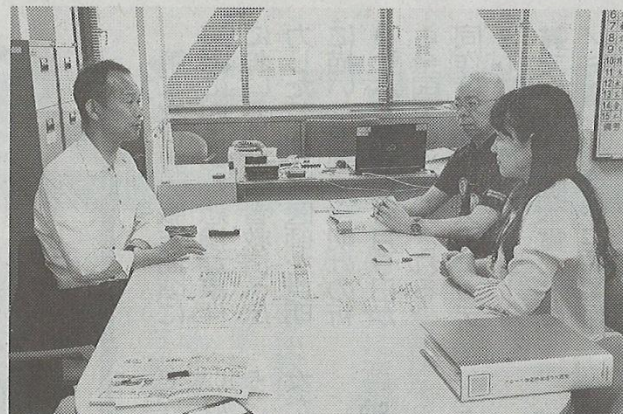
松山市議会議員 吉富健一の政務活動報告 よしみマン通信

第17号
2017年12月
発行) 松山市議
吉富健一

表面 食品ロスの削減に向けて。3010運動の普及を推進
中面 ~ アートを通じたまちづくりを推進 ~ 道後温泉別館「飛鳥乃湯泉」がオープン
裏面 台風18号被害現地調査
平成29年9月議会一般質問

食品ロスの削減に向けて。 3010 運動の普及を推進

新聞 2017年(平成29年)7月29日(土曜日) (6)



ごみ減量へ3010運動
松山市排出最少日本一奪還めざす

担当者から「3010運動」について話を聞く吉富市議

人当たりのごみ排出量が06年から9年連続で、全国で最も少なかった(人口50万人以上の都市)。ところが15年度は、一般廃棄物の事業系ごみが増えたことで2位に。

愛媛県松山市は今年度から、宴会や親睦会などでの食べ残しを減らすため、「3010運動」の普及に取り組んでいる。この運動は、宴会の最初の30分と最後の10分は自分の席に戻って料理を食べるように促すもので、公明党の吉富健一市議が、2016年3月定例会で提案していた。

そこで市は、首位奪還をめざし、事業系ごみの大部分を占める宴会場やレストランの食べ残しを減らすため、「3010運動」を普及することを決めた。松山市は、今年1月に飲食店情報検索サイトを運営する「株式会社ぐるなび」と食文化や観光振興で協定を結んでおり、同サイトに登録している店舗に啓発用チラシの掲示を依頼。協力店はこれまでに約50店舗に広が

3010運動って、な~に?

会食などで、最初の30分と最後の10分は自席で料理を食べる取り組み。これにより、ムダに捨てられる食品の削減をめざします。

今年から松山市では「3010運動」を推進しています。実は、市は人口50万人以上の都市の中で、平成18~26年度まで9年連続で1人1日あたりのごみ排出量が最少でした。しかし、27年度は他市に栄光を明け渡すことに。3010運動で、今再びのごみ排出量最少・日本一をめざします。

よしみは食品の有効活用に取り組むフードバンクからもご意見を伺い、平成28年3月定例会では、3010運動を紹介して、食の安全と食品ロスの削減について一般質問しました。

- 食品廃棄の適正化について
- フードバンクへの支援について
- 食品ロス削減に向けた取り組みについて など

っている。市環境モデル都市推進課の松本典洋課長は、「コースターにロゴマークをデザインするなど啓発に力を入れ、ごみ排出量最少日本一をめざしたい」と話していた。



台風18号被害現地調査



平成29年9月17日、台風18号が松山市に最接近し、各地で半壊や浸水被害が発生しました。被災された方々に、改めて心よりお見舞いを申し上げます。

よしとみも住民の方からのご連絡で浸水地域に急行し、重信川氾濫に備えて開設された南中学校と双葉小学校の避難所を訪問。眠れない夜を明かした方も、たくさんいらしたと思います。消防・危機管理の皆様、河川等管理者の方々、また、地域の防災関係の方々、大変にお疲れ様でございました。今後とも、防災減災対策にしっかり取り組んで参ります。



平成29年9月議会一般質問



吉富 健一 議員
(公明党議員団)

医療的ケアが必要な障がい児のためのサポート体制について

問 重症心身障がい児など医療的ケアが必要な児童が利用可能なサービスは未だ少ない状況で、十分なサービス提供がなければ、児童のケアは家で家族が行うしかなく、地域社会から孤立してしまいが、医療的ケアの必要障がい児のためのサポート体制について、現状と今後の整備はどうか。

答 本市での障がい児の医療的ケアが提供可能な事業所は、平成29年8月1日現在で計10カ

所あり、また、医療的ケアの必要な障がい児が学校で訪問看護を利用する場合、経費の一部を助成している。今後は国の指針により保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関が連携を図り、さらなる体制の整備に努めていきたい。

「千年の釘」の白鷹幸伯さんの顕彰を

問 松山の鍛冶職人、白鷹幸伯さんは、千年後も残る「千年の釘」を作り上げ、薬師寺西塔・中門・回廊の再建や、県内では松山城や大洲城の再建用和釘、また愛媛県武道館の建築用金具の制作を手掛けられ、一部の小学校国語教科書にも紹介されている。本年6月に享年81歳で亡くなられたが、本市採用の教科書には掲載されておらず、「市はもっと功績を顕彰すべき」との意見があるが、考えを伺う。

多くの賞を受賞された同氏の技術は、御子息に継承され、9月オープン道の温泉別館・飛鳥乃湯泉（あすかのゆ）のエントランス木版壁画に御子息が制作された700本の和釘を使用している。今後、市民や県内外の観光客にその技術を知っていただくよい機会として、飛鳥乃湯泉をPRしていく中で、白鷹氏の功績を広く周知したい。また、現在教育委員会

編さん中の新編「ふるさと松山」先人伝に同氏を取り上げることを、教育長と協議し、調整している。



（その他の質問事項）
これからの高齢者福祉、スポーツの祭典を契機としたバリアフリー化の取り組み、道後温泉活性化

吉富健一
連絡先

吉富健一
HP & ブログ

よしとみマン日記

<http://www.komei.or.jp/km/matsuyama-yoshitomi-kenichi/>



ひとことメッセージ

今回の「よしとみマン通信」は私がお届けしました。

吉富健一(本人) 協力者 ()

平成29年中は大変お世話になりました。平成30年もご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。